

ソフト事業のみ
 ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和4 年度

市町村名	鶴ヶ島市			
提案事業名	「Nゲージとガーデンパーク構想」実現事業			
事業期間	令和4 年度	～	令和5 年度	
事業の必要性、目的	鶴ヶ島駅周辺地区の都市機能の維持充実を図るため、市内企業と連携した交流拠点（（仮称）Nゲージとガーデンパーク）を整備する。今後、地域住民や関係団体等と連携しながら拠点を核としたまちづくりを進めていくため、拠点の整備が必要不可欠である。			
成果指標	（成果を検証する指標） 整備した拠点で開催される事業（イベント等）数			
	（成果検証の具体的な方法） 事業を開催する際に提出される公園使用許可申請書等により掌握する			
	（上記の指標を設定した理由） 拠点の整備効果を生かすためには、地域住民、市民団体、事業者等の交流が欠かせないことから、拠点を活用した事業実施が重要と考えられるため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （4年3月現在）	0	目標値 （7年3月時点）	4
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数(目標) (人)	—	稼働率(目標) (%)	—
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページで公表			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和5年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 鶴ヶ丘児童公園整備事業	ハード 市内企業の新工場建設に合わせ、工場敷地に隣接する鶴ヶ丘児童公園を再整備する際に、地域住民や関係団体の意見聴取等を実施する。また、公園整備後の管理・活用に当たっても同様である。	45,000
②	ハード ソフト 間接補	
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		45,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	工場建設企業をはじめ、周辺自治会、地域支え合い協議会、地元商店会、市商工会、近隣大学等の関係団体と連携を図りながら、事業を推進する。
成果指標の達成見込み	本事業の実施に当たり、多くの住民、事業者、市民団体、関係団体等の幅広い参画が必要不可欠であるため、成果指標の達成及び十分な成果が見込まれる。